

<ニュースリリース>

太陽光発電で作られた電気の社会全体での利用拡大を目指して 「上げ Demand Response」(上げ DR)の開始 ～太陽光エネルギー由来の電力需給の安定化への貢献～

カゴメ株式会社(代表取締役社長:山口聡 本社:愛知県名古屋市)は、太陽光発電等の再生可能エネルギーで作られた電気の社会全体での利用拡大を目指し、電気の供給過多による太陽光発電の出力抑制が想定される日および時間帯に、小売電気事業者等の要請に応じて日中の電気使用量を増やす「上げ Demand Response」(以下、上げ DR)を、2025 年 4 月より、当社茨城工場で開始します。

電気の安定供給には供給量と需要量のバランス調整が不可欠です。太陽光発電の拡大に伴い、日中の供給量が増加しており、供給過多時には出力抑制が行われています。また太陽光発電は天候の影響を受けやすく、供給量の変動幅が大きいため、その調整が太陽光発電の更なる拡大に向けた重要な課題となっています。

DR は、供給量に合わせてユーザーが需要量を調整する手法です。電力会社からの要請を受け、供給過多が予想される日および時間帯に、ユーザーが需要量を増やすことを「上げ DR」と呼びます。

この取り組みでは、小売電気事業者の株式会社グローバルエンジニアリングと電気取次事業者のReivalue株式会社からの『上げ DR』要請に応じ、茨城工場のアイスビルダー^{※1}を利用して、電力需要の調整を行います。アイスビルダーはこれまで夜間に蓄熱を行っていましたが、そのタイミングを任意の時間に稼働できるように変更し、電力使用量の約 12%を日中に移行することが可能になりました。

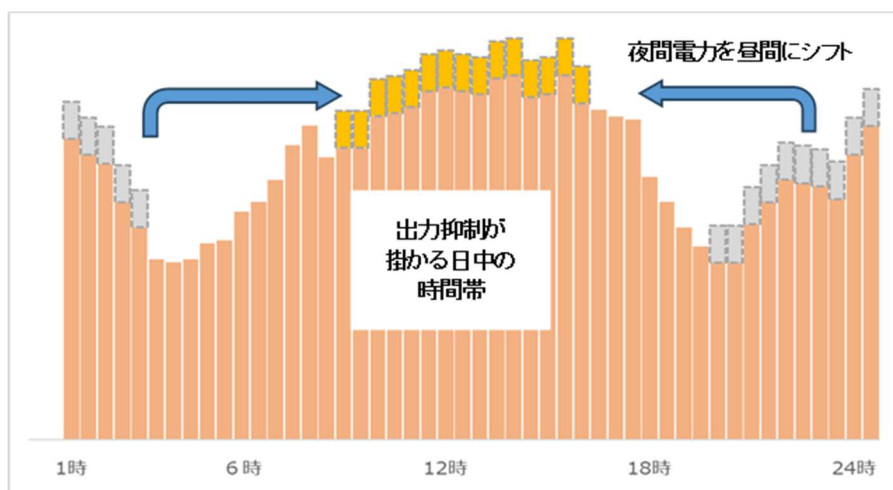
本取り組みで得た知見も活かし、他工場でも蓄電池^{※2}や冷凍機制御等による「DR」を検討していきます。

※1 氷蓄熱式冷却水製造装置 (蓄熱槽に氷を蓄えることで、冷たい空気や水を供給。氷の冷却効果を利用することで、エネルギーを節約しながら設備や部屋等を冷却できる。)

※2 野菜飲料を製造する富士見工場における蓄電池システムの運用開始

<https://www.kagome.co.jp/library/company/news/2024/img/2024082901.pdf>

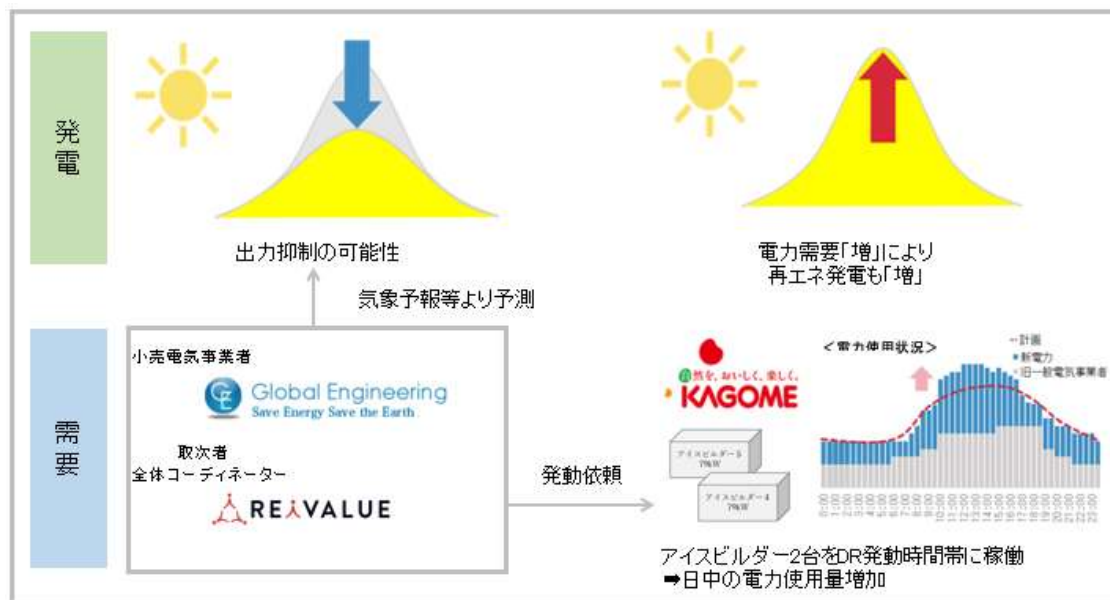
【上げ DR による需要量調整のイメージ】



【提携先の概要およびスキーム】

提携先の小売電気事業者	株式会社グローバルエンジニアリング (代表取締役: 高橋宏忠、本社: 福岡県福岡市)
取次及び全体のコーディネート	Reivalue株式会社 (代表取締役: 堀口公希、本社: 東京都港区)
対象工場	茨城工場
運用開始	2025年4月

【3社による運用スキーム】



【参考: 当社の国内における再生可能エネルギー活用の取り組み】

2021年	国内3工場において太陽光発電パネルを設置 ※小坂井工場(愛知県)、茨城工場(茨城県)、富士見工場(長野県)
2022年	「トマトケチャップ」を生産する小坂井工場において、購入電力を再生可能エネルギー電源に由来する電力に切り替え。太陽光パネルによる自家発電と組み合わせ、当工場の使用電力をすべて再生可能エネルギー電源に由来する電力に。
2023年	「野菜飲料」を生産する富士見工場において、購入電力を再生可能エネルギー電源に由来する電力に切り替え。太陽光パネルによる自家発電と組み合わせ、当工場の使用電力をすべて再生可能エネルギー電源に由来する電力に。
2024年	富士見工場において、蓄電池システムを導入し既存太陽光発電設備の最大稼働と太陽光パネルの新規増設を実現。
2024年	再生可能エネルギーで作られた電気の利用拡大を目指し、「上げ Demand Response」(上げ DR)の活用に向けた実証を開始。「上げ DR」の要請に対する、生産量の調整や電気使用量拡大策の実現可能性について検討。

＜報道機関様むけのお問い合わせ先＞

カゴメ株式会社 コーポレート企画本部 経営企画室 広報グループ 北川・岩元 TEL: 03-5623-8503